

## ナタリヤ・チャリソヴァ教授

(ロシア国立人文大学、ペルシャ文学)

### ロシアのオマル・ハイヤム——詩人とブランド

РУССКИЙ ОМАР ХАЙЯМ: ПОЭТ И БРЕНД



日時 2013年11月22日(金) 午前10時30分～12時10分

場所 東京大学本郷キャンパス  
文学部3号館7階スラヴ語スラヴ文学演習室

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

交通：地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷3丁目」、南北線「東大前」などから徒歩10分

ロシアを代表するペルシャ文学専門家による、オマル・ハイヤムのロシアにおける受容と翻訳をめぐるたいへん貴重な特別講演です。専門的関心をお持ちの皆様のご来聴を歓迎します。事前予約は不要。講義はロシア語で行われますが(通訳はつきません)、日本語訳のテキストを希望者には配布します。また質疑は英語も可。

#### 講師プロフィール

ナタリヤ・チャリソヴァ氏は、モスクワのロシア国立人文大学東洋・古典研究所教授。ペルシャの詩の研究の第一人者。またロシアにおけるペルシャ詩の受容に関する研究でも知られる。

Natalia Chalisova is Professor in Persian Literature at the Institute of Oriental and Classical Studies, Russian State University for Humanities, Moscow. Her research interests are primarily in history of Iranian literature of Pre-mongolian period and in traditional literary theory with particular focus on the conventions of poetic imagery and on the hermeneutical problem of understanding Persian poetry. N.Chalisova has also written on reception of Persian poetry in Russia and on the problems and strategies of translation.

業績について詳しくは：<http://east-west.rsuh.ru/article.html?id=66531>

問い合わせ先：東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部現代文芸論研究室 03-5841-7955